

「日本食を食べて、日本食を食べに、日本に行こう」プロジェクト ～フランスにおける訪日旅行促進事業と欧州展開の可能性～

平成 25 年 2 月 8 日、9 日にパリ市内のギャラリー「ESPACE CINKO」で開催された、観光庁主催の「日本食を食べて、日本食を食べに、日本に行こう」プロジェクト¹の一般向けイベントに参加しましたので、その内容を報告いたします。

○プロジェクトの概要～日本食を食べて、日本行きの航空券が当たる！～

このプロジェクトは、観光庁が、フランスの日本食ファンを中心に、日本ファンの裾野拡大と訪日旅行者の増加を目的に、パリ市内の日本食レストランや日本食材店、在仏日系企業等と連携し実施するものです。そのプロジェクト名のとおり、連携先の日本食レストランや食材店で食事や買い物をするすると抽選で日本行き航空券含む旅行商品のほか、食事割引券や日本食材などが当たるスタンプラリーを実施するユニークな企画です。広報ツールとしては、ポスター、チラシ、SNS や日本の観光地とその土地の食をめぐるモデルルートなども紹介するキャンペーン特設サイト等を効果的に活用し、訪日旅行のプロモーションを実施しています。イベントはこのキャンペーンの一環で、一般消費者を対象に実施されました。

今回、パリ事務所は、イベントの展示品である食器を自治体から公募し、自治体及び主催者との調整を行いました。今回は、19もの自治体に食器をご出品いただきました。ご出品いただいた自治体の皆様におかれましては、この場を借りて御礼申し上げます。

○イベントの様子～日本食は好評！日本の食器の海外展開も見えてきた!?!～

イベント当日は、日本でのお勧め観光ルートや日本食イラストの展示、旅行会社による日本旅行に関するプレゼンテーション、物産の試食、巻き寿司アトリエ、太鼓演奏、工芸品展示など盛りだくさんの内容で実施され、2日間で1,200人ももの来場がありました。これは、日本食のPRと、訪日のキャンペーンが見事にマッチしたイベントであると考えられます。また、フランス在住の子供たちが、熱心に巻き寿司を作っている様子を見ると、早くから日本に親しむきっかけとなり、よい食育の機会でもあったと感じました。そして、日本の自治体にとっても、食器の展示をはじめとして、プログラム全体を通して大変よいPRとなりました。

来場者からは、「今まで日本食材については興味があったものの、食べ方や食べ合わせがよく分からなかったため、なかなか購入する機会がなかった。今回のイベントでよく理解できたので、ぜひ購入してみたい。」「日本はとても好きなので、既に抽選を申し込みました。日本行きのチケットが当たることを夢見ています。」という声が聞かれました。また、食器の展示品については、「とても美しく、品位がある。」という感想や、「展示品はどこに行ったら購入できるのか?」といった問い合わせが多数寄せられるなど、来場者の反応は上々でした。

¹ 観光庁が実施するビジット・ジャパン事業の一環であり、JNTO パリ事務所、モグモグジャポンが運営をしている。
参考 HP http://www.mlit.go.jp/kankocho/news08_000153.html

特に今回注目すべきは、イル・ド・フランス手工業者・工芸組合²から、出展品への評価やアドバイス等がフィードバックされている点です。そのコメントの一例を挙げると、「フランスの市場価格として、〇〇ユーロが適当」、「フランスには珍しい和風のモチーフ」、「ワインやシャンパンの場合、中身が見えないグラスはあまり好まれない現状がある。」など具体的なもので、市場の第一線で活躍する専門家からのこうしたアドバイスは、海外での展開にあたって重要な検討材料を提供してくれたものと思われます。

次回は、是非その食材産地と観光 PR が連動して展示ができると、更に素晴らしいイベントになると思いました。今後も、事業の発展・連動に期待したいと思います。



食器とポスターの展示の様子



巻き寿司アトリエの様子。熱心な子ども達が印象的。

○出品自治体の声（佐賀県佐賀市の場合）

今回のイベントには佐賀県佐賀市の飛鳥工房³さんにご出品いただきました。

今回、このイベントに出品されるに至った経緯を、佐賀市商業振興課兼国際戦略室の増本さんに伺いました。

Q1. 今回、出品してみようと思われたきっかけはなんだったのでしょうか？

A1. 市役所内の市民活動推進課からパリ事務所の募集文書が転送されてきたんです。日ごろから市内の各事業所さんから海外展開の希望の声をたくさん聞いていたので、これはいい機会になるのではないかと思います事業所さんにお声かけしました。



佐賀市・飛鳥工房の作品展示 1

² フランス語名 Chambre régionale de métiers et de l'artisanat d'Ile-de-France

パリ市を含む 8 つの県で構成されるイル・ド・フランス州内の手工業者・工芸家による組合組織。

³GOOD DESIGN AWARD 2012」を受賞されるなど国内でも人気の高い作品をたくさん作りだされている。

参考 HP <http://asukakoubou.com/company/>

Q2. 市内の各事業所にどのように広報・PRされたのでしょうか？

A2. もともと、市に入った情報を市内各事業所さんにお送りするメールリストがあります。約 130 の登録がありますので、そのリストを活用し出品を呼びかけました。

Q3. 今回の出品に期待する効果をお聞かせください。

A3. これまでも海外展開の希望はよく聞いていたのですが、特に工芸品の分野においては各事業所さんも小規模なところが多くその糸口がなかなか見えなかったんです。各事業所に海外の業者から個別に販売の依頼があっても、怖くてなかなか手が出せなかった。

しかし、同じ市内の身近な事業所である飛鳥工房さんが今回も含めて海外に出展の実績を積み重ねていかれることで、市内の他の事業所さん達の自信にもつながり、今、市内全体で海外展開に向けて非常に盛り上がってきています。

今回の飛鳥工房さんの出品成果について、イベントの主催者から会場での感想や、プロによる商品の評価などのフィードバックもいただきました。内容もすごく充実していて、今後につながっていくのではと期待しています。

実は、今、次の展開も計画に上がってきており、いい循環に入ってきているのではと思っています。

佐賀市役所の増本さんとお話ししていると、増本さんご自身からも佐賀のいいものを世界に拡げていきたいという熱い思いを感じます。日ごろから市内の各事業所さんの声に丁寧に耳を傾け、要望を的確に捉えている増本さんという存在があったからこそ、今回の出品につながったのだらうと思います。

今回のイベントは、各自治体の日ごろの丁寧なお仕事と、クリアの取組みが有機的につながった事例だと思います。こんな風に地域の盛り上がりにも少しでもお役に立てたことを、心から感謝いたします。



佐賀市・飛鳥工房の作品展示 2

○出品自治体一覧

東川町（北海道）、弘前市（青森県）、福島県、上野村（群馬県）、富山県、珠洲市（石川県）、山梨県、高山市（岐阜県）、土岐市（岐阜県）、蒲郡市（愛知県）、久御山町（京都府）、豊岡市（兵庫県）、岡山県、玉野市（岡山県）、広島市（広島県）、福岡県、佐賀市（佐賀県）、宮崎県、沖縄県

○まとめ～日本食 PR に大きなビジネスチャンス到来！～

現在、日本食を海外で PR する地方自治体が大変増えてきております。ヨーロッパでの一例を紹介すると、山形県鶴岡市が、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の創造都市ネットワ

ークにおける食文化部門の登録を目指し、ユネスコの本部があるパリで実施した取り組み⁴や、ロンドンで甲州ワインの PR をする山梨県の取り組み⁵などが挙げられます。このように、地方自治体が、地域ブランドの情報発信の主体となる潮流は、地元の生産者やメーカーが、その一体的なブランドイメージを享受できるというメリットに後押しされており、またその取り組み自体が地域力を向上させることにもつながります。フランスにおいては、日本食・日本文化のブームが来ており、よい雰囲気醸成されております。また同じく、ロンドンにおける日本食の普遍化⁶も、大きなビジネスのチャンスであるとも捉えることができます。

今後、パリ事務所及びロンドン事務所では、地方自治体の国際的活動が多様化している状況に対応しながら、観光分野や経済分野でも自治体の活動を支援できるよう取り組みを行っています。欧州での事業展開をお考えの際にはぜひお気軽に両事務所までご連絡ください。

(パリ事務所 原田所長補佐 群馬県富岡市派遣)

(ロンドン事務所 山口所長補佐 佐賀県派遣)



⁴ 参考：CLAIR メールマガジン vol.21 掲載記事（2011 年 11 月配信）
HP http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201111_2/2-2.pdf

⁵ 参考：自治体国際化フォーラム 2012 年 10 月号 掲載記事
HP http://www.clair.or.jp/j/forum/forum/pdf_276/11_economy.pdf

⁶ JETRO 発行「英国ロンドンを中心とした日本食品マーケティング調査」（2012 年 3 月）を参考とした。
参考 HP <http://www.jetro.go.jp/world/europe/uk/reports/07000931>